

政策	Ⅵ	豊かで快適なくらしを支える都市基盤が整備されたまち	計画書
施策	1	都市基盤の整備充実	82
主要施策	36	安全・快適で機能的な道路整備や河川改修等の推進	ページ

部	都市整備部	課	土木課	所管部長	安則宏幸	作成 役職	副課長	氏名	丸山聡司
				所管課長	丸山真矢	役職	係長	氏名	藤原誠司
						役職	係長	氏名	岩佐淳平

将来あるべき姿
市内外をつなぐ道路ネットワークが構築され、効率的に移動できることで、広域的な交流や地域産業が活性化しています。 また、市民一人ひとりが、道路・公園などの施設や河川の美化活動や維持管理に意識を向け、安全・安心で快適な環境が保たれています。

協働の取組(市の取組) 計画内容		成果	課題・取組方針	総合評価
① 道路や河川などの安全確保・景観保全【総合戦略】	道路・橋りょう・公園・河川の計画的かつ効率的な修繕・補修や、破損箇所・不具合箇所を通報しやすい環境整備、通学路の安全確保に取り組みます。また、地域・団体などとの協働による美化活動に取り組むため、アドプトプログラムへの参加を促進します。	⇒ 道路の舗装や区画線の引き直しを計画的に実施した。通学路では、社員原線の歩道整備や喜喜田線の歩道の設計業務などを実施した。また、ライン通報により、破損箇所などへの迅速な対応ができた。(R6ライン通報による対応:101件) 橋梁については、中央橋・陣屋橋の補修工事を行った。 また、アドプトプログラム推進事業により、地域や団体へ活動に必要な資材の提供を行った。	⇒ 道路や橋梁、交通安全施設などについては、老朽化が進んでおり、計画的かつ効率的に修繕・補修を行っていく必要があるため、状況を的確に把握し、施設の長寿命化を図っていく。 また、引き続きアドプトプログラムによる道路などの周辺美化への取り組みを推進する。	【S】全ての指標を達成又は十分な成果があった 【A】全ての指標の達成率が80%以上又は概ね目標とする成果があった 【B】過半数の指標の達成率が60%以上又は一部成果があった 【C】取組(時期・内容)に改善が必要 【一次(内部)評価理由(指標達成度以外で評価した場合)】 道路、橋梁、公園等において補修・修繕等の実施や、アドプトプログラムや生活道路の整備といった地域主体での活動に対する支援を実施するなど一定の成果をあげることができた。 【二次(外部)評価意見等】
	② 機能的な道路ネットワークの整備【総合戦略】	⇒ 広域的な観点を踏まえた、まちの拠点や観光地、各地域を結ぶ機能的で安全な道路ネットワークの構築に取り組むとともに、地区が行う生活道路の整備を支援します。また、神戸方面に伸びる高規格道路ネットワークの整備に向けた調査・研究に取り組みます。	⇒ 引き続き、生活道路の整備の支援に取り組むとともに、高規格ネットワーク整備に向けた調査・研究を進めていく。	
	③ 公園の充実と緑地の保全【総合戦略】	⇒ ゆめのくにこうえん、朝日ヶ丘公園、嬉野台幼児遊園のトイレの改修を実施し、公園利用者の快適性の向上に努めた。 また、公園施設長寿命化計画に基づき、遊具や園路などの補修・更新を行い、利用者の安全性の確保を図った。さらに、公園施設長寿命化計画の見直しを行い、維持管理費の平準化を図った。	⇒ 今後も公園の日常点検を実施し、異常箇所が見つければ修繕を行い、改修が必要な遊具等については、補修設計及び整備工事を行う。	
	④ 河川改修の促進と適切な維持管理【総合戦略】	⇒ 洪水被害を軽減するため、国土交通省が行う加古川河川改修事業の一層の進捗が図れるよう、国や関係者と一体となって取り組むとともに、市民や地域にも理解を促します。また、河川の流下能力を向上させるため、堆積土砂を計画的に撤去するとともに、出水期には広域的かつ合理的な河川への排水コントロールに、地区(自治会)とともに取り組みます。	⇒ 加古川河川改修の早期完成に向け、国や関係機関との連携を引き続き図っていく。 市が管理する河川において、土砂堆積などが進行している箇所について、的確に把握し計画的に対応していく。	
		⇒ 国土交通省が行う加古川河川改修において、国と連携し、事業推進を図った。 奥鴨川の堆積土砂を撤去し、河川氾濫による災害の未然防止を図った。		

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値					下段:実績値				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①②道路の整備に対する満足度	市民アンケートにおいて、道路の整備状況を満足と感じる市民の割合	%	↗	↑	75.7 (R4)	—	—	77.0	—	78.0	—	—	—	—	—
③公園の整備に対する満足度	市民アンケートにおいて、公園の整備に満足と感じる市民の割合	%	↗	↑	75.7 (R4)	—	—	77.2	—	80.0	—	—	—	—	—
③複合遊具の新設数	公園への複合遊具の新設状況	基	—	↑	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
④防災対策に対する満足度	市民アンケートにおいて、水害などの防災対策を満足と感じる市民の割合	%	↗	↑	81.2 (R4)	—	—	83.0	—	84.0	—	—	—	—	—

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、—:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段：2023(R5)～2024(R6)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算〔千円〕、中下段：執行率、下段：実施有無						R6 成果	R8 予算	R8 方向性	方向性の詳細(方向性が「継続」 「完了」以外は必ず記載、「継続」の 場合はある場合のみ記載)	行財政改革関連 事業の成果
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	道路維持管理事業		高木伐採後の植樹樹の維持管理の軽減を図るための抜根及び舗装、快適な通行空間の確保のため、ほ場整備事業で確保した道路用地の舗装(上三草牧野線)	20,550	16,500	16,800	39,740	39,740	133,330	○	維持	継続		
					17,746	9,714				27,460					
				安全な道路環境の確保のための交差点の改修工事(木梨原南山線)、快適な通行空間の確保のため、ほ場整備事業で確保した道路用地の舗装(木梨下三草線)	86.4%	58.9%	0.0%	0.0%	0.0%	20.6%					
2	①	アドプトプログラム推進事業		市が管理する道路・河川・公園の清掃美化活動実施団体に対する資材の支給	4,500	4,500	4,438	4,500	4,500	22,438	○	維持	継続		
					3,764	3,899				7,663					
					83.6%	86.6%	0.0%	0.0%	0.0%	34.2%					
3	①	道路ストック総点検事業		舗装及び道路法面・土木構造物(道路ストック)の修繕設計及び工事(社会資本整備総合交付金事業、公共施設等適正管理推進事業)	58,300	78,000	70,700	55,000	60,000	322,000	○	維持	継続		
					48,670	64,154				112,824					
					83.5%	82.2%	0.0%	0.0%	0.0%	35.0%					
4	①	橋りょう長寿命化修繕事業		橋りょう長寿命化のための修繕設計、工事及び点検、計画策定業務(道路メンテナンス事業)	92,775	141,950	69,330	190,100	80,000	574,155	○	維持	継続		
					91,257	108,880				200,137					
					98.4%	76.7%	0.0%	0.0%	0.0%	34.9%					
5	①	交通安全施設整備事業	○	経年劣化に伴う区画線の引き直し、通学路の安全対策工事★、通学路点検の結果による安全対策工事(社会資本整備総合交付金事業：社喜田線)★	51,126	49,750	52,671	15,000	15,000	183,547	○	維持	継続		
					40,590	37,739				78,329					
				歩道や路側帯の安全性向上のための対策工事(社会資本整備総合交付金事業：社員原線)	79.4%	75.9%	0.0%	0.0%	0.0%	42.7%					
6	②	生活道路整備事業		地区(自治会)が行う生活道路整備に要する経費の一部補助	1,500	719	3,399	1,500	1,500	8,618	○	維持	継続		
					795	481				1,276					
					53.0%	66.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.8%					
7	②	市単独事業	○	中心市街地へのアクセス道路の検討・整備(仮称 田中家原線)	—	—		22,000	45,000	67,000		増額	拡充	R7～検討	
					—	—				0					
					—	—	—	0.0%	0.0%	0.0%					
8	②	南北高規格道路ネットワーク整備推進事業	○	神戸方面とを南北に結ぶ高規格道路ネットワークの実現に向けた調査・研究	—	—				0	○	—	継続		
					—	—				0					
					—	—	—	—	—	—					
9	③	公園等維持管理事業		公園利用者がトイレを快適に利用できるよう改修	795	14,500	15,000	4,500	4,500	39,295	○	維持	継続		
					10,818	10,505				21,323					
					1360.8%	72.4%	0.0%	0.0%	0.0%	54.3%					
10	③	公園長寿命化修繕事業		公園施設長寿命化計画の策定、計画に基づく点検、修繕設計及び工事、利用者ニーズの把握	45,300	48,000	31,000	35,998	30,000	190,298	○	維持	継続		
					43,240	44,076				87,316					
				公園施設長寿命化計画の策定(見直し)	95.5%	91.8%	0.0%	0.0%	0.0%	45.9%					

令和6年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート

11	③	公園遊具整備事業	○ 複合遊具の新設に向けた検討	—	—	—	15,000	50,000	65,000	○	増額	継続		
				—	—	—	—	—	0					
				—	—	—	0.0%	0.0%	0.0%					
			○	○	○	○	○	○						
12	④	加古川河川改修推進事業	○ 国土交通省が実施する加古川河川改修事業による用地取得及び築堤・護岸工事の促進	624	568	553	553	553	2,851	○	維持	継続		
				336	520				856					
				53.8%	91.5%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%					
			○	○	○	○	○							
13	④	市管理河川等維持管理事業	市管理河川の適正な維持管理	3,610	3,610	3,619	3,619	3,619	18,077	○	維持	継続		
				3,437	1,169				4,606					
				95.2%	32.4%	0.0%	0.0%	0.0%	25.5%					
			○	○	○	○	○							
14	④	河川区域内環境保全事業	市管理河川内の堆積土砂の除去	2,900	7,700		6,000	6,000	22,600	○	維持	継続		
				2,899	5,138				8,037					
				100.0%	66.7%	—	0.0%	0.0%	35.6%					
			○	○	○	○	○							
予算(計画) 事業費 合計				281,980	365,797	267,510	393,510	340,412	1,649,209					
決算 事業費 合計				263,552	286,275	0	0	0	549,827					
執行率				93.5%	78.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%					

政 策	Ⅵ	豊かで快適なくらしを支える都市基盤が整備されたまち	計画書
施 策	1	都市基盤の整備充実	83
主要施策	37	持続可能な都市基盤整備の推進	ページ

部	都市整備部	課	都市政策課	所管部長	安則 宏幸	作成 役職	係長	氏名	梶田真智子
				所管課長	山本 幸平	役職	係長	氏名	岩井 浩二
						役職		氏名	

将来あるべき姿
都市基盤を活かしたまちの拠点機能の充実や良好な市街地の形成、地域特性に応じた土地利用の推進により、多様な人がくらし続ける「まち」が形成されています。 また、地籍調査が促進されることにより、その成果が土地に関する施策や調査に活用されています。

協働の取組(市の取組) 計画内容	成 果	課題・取組方針	総合評価
① 新たな市街地の形成【総合戦略】 市街化区域における既存ストックを活用した民間による開発を促進し、良好な市街地の形成に取り組みます。また、市街化区域への編入や土地区画整理事業などによる新たなストックの創出に向けて、関係機関と連携・協議します。	市街化区域内の低未利用地について、民間事業者を活用を促すことで、既存ストックを活用した開発の促進に努めた。	引き続き民間事業者既存ストックの活用を促し、良好な市街地の形成に取り組む。また、新たなストックの創出に向けては地区計画の活用等を検討し、必要に応じて関係機関と連携・協議を行う。	一次 (内部) B R5 R6 R7 B
② 地域集落の活力維持【総合戦略】 住居や店舗、事業所を構えることができるよう特別指定区域制度を活用するなど、市街化調整区域などでの土地利用を推進し、集落の活力維持に努めます。	区域区分を廃止し、新たな土地利用コントロールの検討を進めていくことを決定した。	市街化調整区域等における土地利用や集落の活力維持等の課題に対応するため、区域区分の廃止に向けて検討・協議を進めていく。	二次 (外部) B R5 R6 R7
③ 地籍調査の実施と活用 市民や事業者の理解や協力のもと、土地利用などに関する施策に活用されるよう地籍調査を計画的に実施します。	社市街地Ⅲ地区では測量、地籍図・地籍簿の作成、閲覧及び修正、窪田地区では現地立会いによる一筆地調査等を行った。	引き続き、未実施地区の地籍調査を計画的に実施する。	【S】全ての指標を達成又は十分な成果があった 【A】全ての指標の達成率が80%以上又は概ね目標とする成果があった 【B】過半数の指標の達成率が60%以上又は一部成果があった 【C】取組(時期・内容)に改善が必要 【一次(内部)評価理由(指標達成度以外で評価した場合)】 指標は達成していないが、区域区分を廃止し、新たな土地利用コントロールの検討を進めていくことを決定した。
			【二次(外部)評価意見等】

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値 下段:実績値					上段:達成率 下段:年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①市街化区域内の新築件数	市街化区域内で新築された建築物の数	件	→	↑	127	129 68	132 77	133	135	137	52.7% ☆	58.3% ☆			
②特別指定区域制度を活用した住宅の新築件数	特別指定区域制度を活用して新築された住宅などの数	件	→	↑	10	11 7	12 5	13	14	15	63.6% ★	41.7% ☆			
③地籍調査実施率	未実施地区における地籍調査の実施状況	%	↗	↑	20.7	21.1 20.9	21.2 21.1	21.3	21.4	21.6	99.1% ★★	99.5% ★★			

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、-:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2027(R9)〕 下段：2023(R5)～2024(R6)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算【千円】、中下段：執行率、下段：実施有無						R6 成果	R8 予算	R8 方向性	方向性の詳細(方向性が「継続」 「完了」以外は必ず記載、「継続」の 場合はある場合のみ記載)	行財政改革関連 事業の成果
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	既存ストック有効利用推進事業	○	市街化区域における既存ストックを活かした民間開発の促進						0	○	－	継続		
									0						
			○	○	○	○	○								
2	①	新たな市街地創出事業	○	市街化区域への編入や土地区画整理事業等による新たな市街地の創出の検討						0	○	－	継続		
									0						
			○	○	○	○	○								
3	①	区域区分見直し検討事業		市街化調整区域の効果的な土地利用を推進するため、区域区分見直し	9,130 4,378	9,394 6,490	9,922	13,860	12,639	54,945 10,868	○	維持	継続		
				区域区分見直しの検討	48.0% 69.1%	0.0%	0.0%	0.0%	19.8%						
			○	○	○	○	○								
4	②	特別指定区域制度活用推進事業	○	地域活力を維持するための特別指定区域制度の導入推進						0	○	－	継続		
									0						
			○	○	○	○	○								
5	③	地籍調査事業		地籍の未整理地域における地籍調査の実施	47,038 31,258	39,898 25,453	35,174	18,982	23,930	165,022 56,711	○	維持	継続		
					66.5% 63.8%	0.0%	0.0%	0.0%	34.4%						
			○	○	○	○	○								
6										0					
									0						
			－	－	－	－	－	－	－						
7										0					
									0						
			－	－	－	－	－	－	－						
8										0					
									0						
			－	－	－	－	－	－	－						
9										0					
									0						
			－	－	－	－	－	－	－						
10										0					
									0						
			－	－	－	－	－	－	－						
予算(計画) 事業費 合計					56,168	49,292	45,096	32,842	36,569	219,967					
決算 事業費 合計					35,636	31,943	0	0	0	67,579					
執行率					63.4%	64.8%	0.0%	0.0%	0.0%	30.7%					

政策	VI	豊かで快適な暮らしを支える都市基盤が整備されたまち	計画書
施策	1	都市基盤の整備充実	84
主要施策	38	安全・安心で良好な住環境の形成	ページ

部	都市整備部	課	都市政策課	所管部長	安則 宏幸	作成担当	役職	係長	氏名	梶田真智子
				所管課長	山本 幸平		役職		氏名	

将来あるべき姿

災害に強く、人や環境にやさしい住まいづくりの推進をはじめ、良好な住環境の形成により、安全・安心・快適な住まい・住環境が実現しています。

協働の取組(市の取組) 計画内容		成 果	課題・取組方針	総合評価
① 災害に強い住環境の整備【総合戦略】 旧耐震基準住宅の耐震診断や耐震改修の支援制度を充実させるとともに、意識啓発による空家の発生抑制や管理不全の空家の除却支援に加え、空家等活用促進特別区域の指定を検討するなど、災害に強く安全にくらせる住まい・住環境づくりに取り組みます。	⇒	耐震診断費用、耐震化建替工事費用を補助することで、耐震化を促進した。 また、空家発生抑制に向けた啓発を行ったほか、老朽化した空家の除却費用及び住宅用地特例解除に伴う、固定資産税等の上昇相当額を補助した。	⇒	一次(内部) B R5 R6 R7 B 二次(外部) B R5 R6 R7 【S】全ての指標を達成又は十分な成果があった 【A】全ての指標の達成率が80%以上又は概ね目標とする成果があった 【B】過半数の指標の達成率が60%以上又は一部成果があった 【C】取組(時期・内容)に改善が必要 【一次(内部)評価理由(指標達成度以外で評価した場合)】 簡易耐震診断は多かったが、耐震化工事費用の補助件数は増えていない。 【二次(外部)評価意見等】
	⇒	「市営住宅長寿命化計画」に基づき、下三草団地(1号棟)の外壁の長寿命化工事、家原団地(1・6・7号棟)の給湯設備の改修工事、嬉野台団地(1号棟)においては外壁改修、給湯設備改修ともに実施し、安全・安心な住環境を整備した。	⇒	
	⇒	結婚に伴う新生活を支援したほか、働く世代に対して住宅取得費用の一部を補助し、定住人口の増加につながった。 また、専門家による空家相談会を実施したほか、家財処分費用を補助し、空家の有効活用を図った。	⇒	
	⇒		⇒	
	⇒		⇒	
② だれもが安心してくらせる住環境の整備 市営住宅を計画的に維持管理し、バリアフリー改修などの居住性の向上に取り組むとともに、外国人住民向けのシェアハウスなど、目的外での使用を検討します。加えて、セーフティネット住宅制度の普及啓発に取り組み、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進します。	⇒		⇒	
③ 魅力ある住環境の構築【総合戦略】 定住・移住を考えている働く世代・新婚世帯の住宅取得の支援を強化します。また、不動産関係団体と連携して空家バンクへの登録物件を充実させます。加えて、テレワーク拠点やサテライトオフィスなど、新しい働き方のスタイルとしての空家の有効活用に取り組みます。	⇒		⇒	
	⇒		⇒	
	⇒		⇒	
	⇒		⇒	

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値 下段:実績値					上段:達成率 下段:年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①耐震診断や耐震補強済みの住まいの割合	市民アンケートにおいて、耐震診断や耐震補強を行っている住まいの割合	%	↗	↑	35.0 (R4)	—	—	38.0	—	40.0	—	—			
②セーフティネット住宅の登録戸数	住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の戸数	戸	—	↑	369	435	468	501	534	567	93.1%	84.8%			
③空家の適切な管理と利活用の推進に関する満足度	市民アンケートにおいて、空家の適切な管理と利活用の推進に関する取組を満足と感じる市民の割合	%	↘	↑	58.1 (R4)	—	—	62.1	—	64.1	—	—			

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、—:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容(2025(R5)～2027(R9)) 下段：2023(R5)～2024(R6)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算【千円】、中下段：執行率、下段：実施有無						R6 成果	R8 予算	R8 方向性	方向性の詳細(方向性が「継続」「完了」以外は必ず記載、「継続」の場合はある場合のみ記載)	行財政改革関連事業の成果
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計					
1	①	住宅耐震改修促進事業	○	戸建て住宅の耐震改修に対する補助	6,500	6,500	4,500	4,500	4,500	26,500	○	維持	継続		
					1,500	1,000				2,500					
					23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	9.4%					
2	①	空家等対策事業			○	○	○	○	○		○	維持	継続		
			老朽危険空家の除却に対する補助など空家等対策計画に基づく対策の実施、空家除去後の税補助	6,010	16,666	15,538	15,538	15,538	69,290						
				4,456	3,942				8,398						
3	①	空家等活用促進特別区域指定の検討	○	空家の活用を促進するため、特別区域の指定導入の検討						0	○	－	継続		
									0						
				－	－	－	－	－	－						
4	②	公営住宅維持補修事業			○	○	○	○	○		○	維持	継続		
			市営住宅の給湯設備、屋根及び外壁の改修工事、市営住宅を適正に維持するための修繕工事	105,864	168,021	170,996	156,183	125,847	726,911						
				87,778	167,046				254,824						
5	③	空家等活用支援事業	○	空家ストックの有効活用のための空家バンクに係る空家の改修に対する補助、空家の家財処分に対する補助、空家相談会の開催						0	○	維持	継続		
									0						
				9.3%	44.7%	0.0%	0.0%	0.0%	9.2%						
6	③	総合戦略事業(結婚新生活等支援補助)	○	新婚世帯への新居の取得・賃借等に対する補助、働く世代への住宅取得に対する補助	17,081	12,481	11,575	11,575	11,575	64,287	○	維持	継続		
				10,042	5,710				15,752						
				58.8%	45.7%	0.0%	0.0%	0.0%	24.5%						
7										0					
									0						
				－	－	－	－	－	－						
8										0					
									0						
				－	－	－	－	－	－						
9										0					
									0						
				－	－	－	－	－	－						
10										0					
									0						
				－	－	－	－	－	－						
予算(計画) 事業費 合計					139,144	205,940	205,531	190,718	160,382	901,715					
決算 事業費 合計					104,119	178,714	0	0	0	282,833					
執行率					74.8%	86.8%	0.0%	0.0%	0.0%	31.4%					